

# 三重県鳥羽市鳥羽地区 PR資料

# 鳥羽地区の概要

## 【地域の概要】

- 三重県鳥羽市は県中央東側に位置し、古くから漁業が盛んで真珠養殖発祥の地としても有名。
- 全域が伊勢志摩国立公園に位置し、近隣には伊勢神宮も所在していることから、観光業も盛ん。  
イルカ島や内湾性の地の利を生かしてカヤックやスノーケリングを楽しめる三ツ島などもある。
- 三重大学附属水産実験所および鳥羽市水産研究所が新設され、鳥羽市が提唱する「海のシリコンバレー」の中心を担う地区。



## 【漁業の概要】

- 沿岸漁業および養殖業が中心で、一本釣り、船びき網、刺網、小型底びき網、海女、採介藻などの漁船漁業、ノリ（黒・青）、ワカメ、カキなどの養殖業が盛ん。
- 鳥羽磯部漁協では、付加価値向上の取組として、**サワラのブランド化や水産物加工による付加価値向上の取組を推進。**
- 後継者不足や漁獲量の減少による収入の減少**といった課題があり、魚価向上や所得確保対策が望まれている。
- 小浜漁港のエリアは漁業者や漁獲量の減少等により、**漁港施設や用地の利用度の低下がみられ、有効活用**が望まれている。

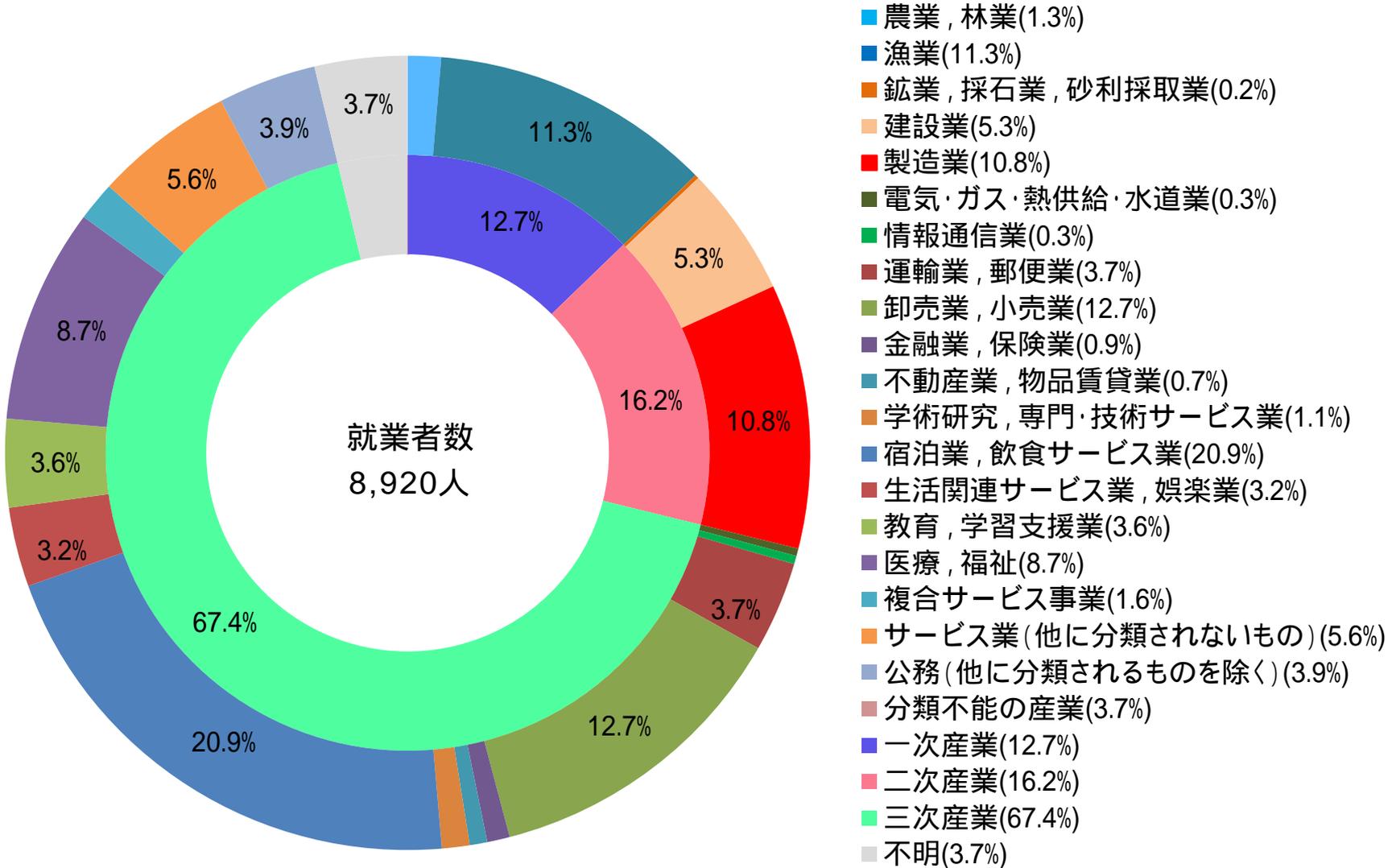
## 【観光の概要】

- ミキモト真珠島や鳥羽水族館といった観光施設があり、年間400万人を超える観光客が訪問。
- 旅行者を対象にしたアンケート結果によると、鳥羽の魅力の上位に「新鮮で美味しい魚介類」を挙げており、漁業と観光業は互いに切り離せない存在。  
市内及び島嶼部では、**海業の取組（海島遊民くらぶ、島の旅社）を推進中。**
- その他の観光施設として、鳥羽水族館、ミキモト真珠島、海の博物館等があり、観光船なども就航。

【地域経済】

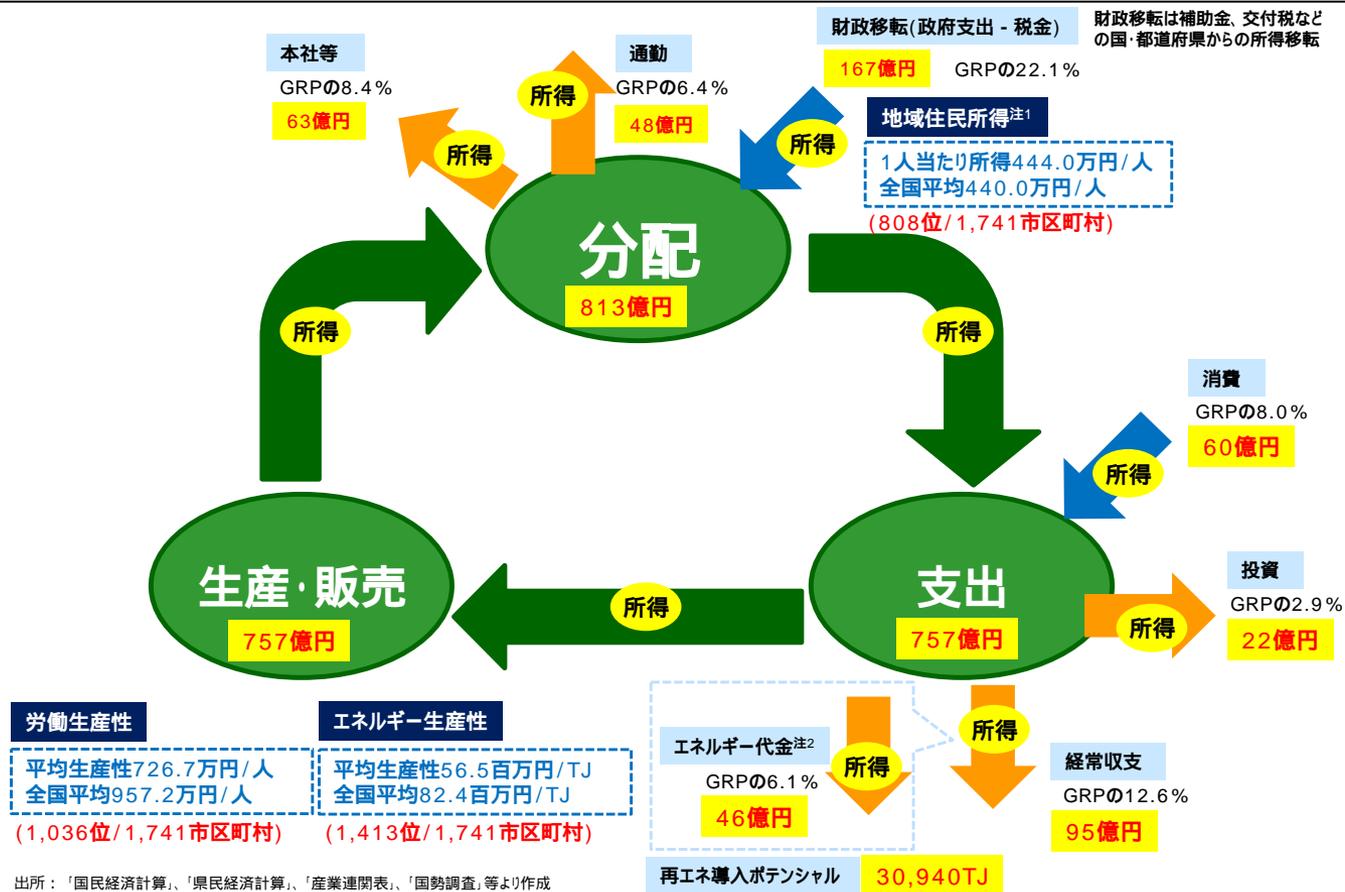
○鳥羽市の産業構造（就業人口構成）は第一次産業の割合が12.7%（全国平均：3.5%）  
○中でも水産業が11.3%であり、また第三次産業（67.4%）の中でも宿泊業・飲食サービス業が20.9%と高いことから、水産業と観光関連業が盛んな地域。

### 鳥羽市にける産業別就業者割合（2020年）



## 【地域経済】

- 鳥羽市の所得循環構造においては、生産・販売は、全体で757億円の収入があり、そのうち労働生産性は全国平均と比較すると約230万円低く、エネルギー生産性も56.5百万円/TJと全国平均より低い。
- 分配は全体で813億円の収入があり、そのうち通勤で48億円支出しているが、財政移転では167億円の収入がある。
- 本社等が鳥羽市でない企業への支出が63億円あり、鳥羽市の地域住民所得は1人あたり444.0万円と全国平均とほぼ同等。
- 支出は、全体で757億円であり、そのうち鳥羽市内での消費で60億円の収入があるが、投資、経常収支、エネルギー代金は鳥羽市外への支出になっている。



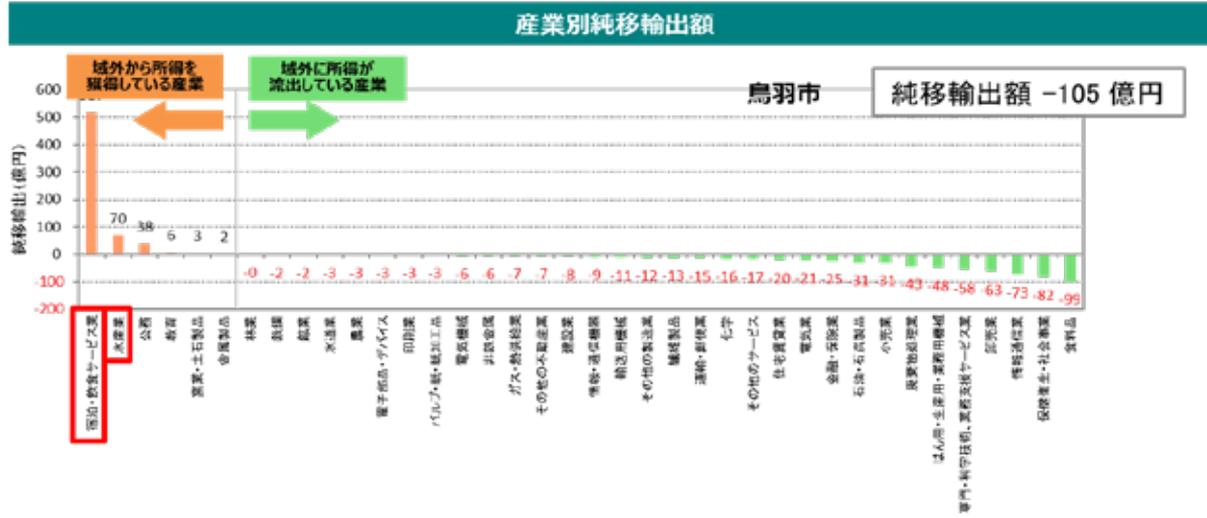
出所：「国民経済計算」、「県民経済計算」、「産業連関表」、「国勢調査」等より作成

注1) 地域住民所得は、夜間人口1人当たりの所得(=雇用者所得+その他所得)を意味する。  
注2) エネルギー代金の収支は経常収支の内数であり、原材料利用や本社・営業所等の活動(=非エネルギー)は含まれない。 Ver5.0までは含まれる



## 【地域経済】

- 域外から所得を獲得している産業は宿泊・飲食サービス業、水産業、公務、教育、窯業・土石製品、金属製品。
- これらは域内での生産額が大きい産業であり、地域で強みのある産業といえる。

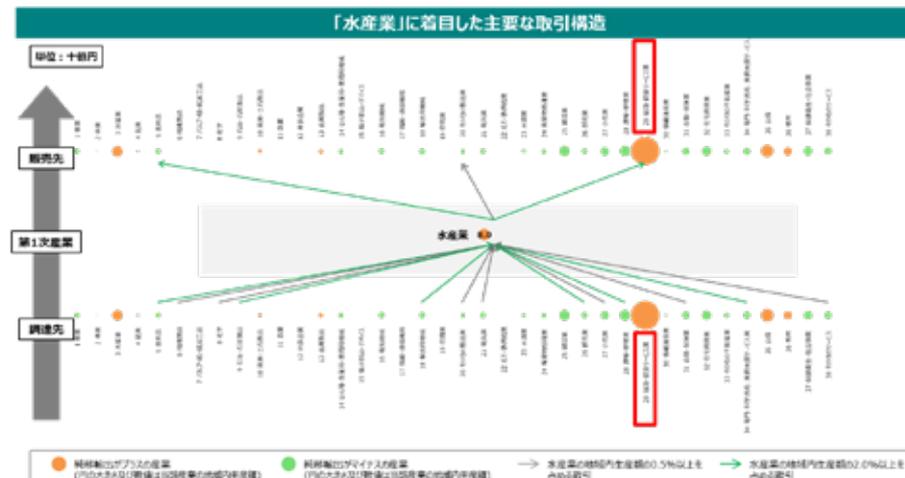
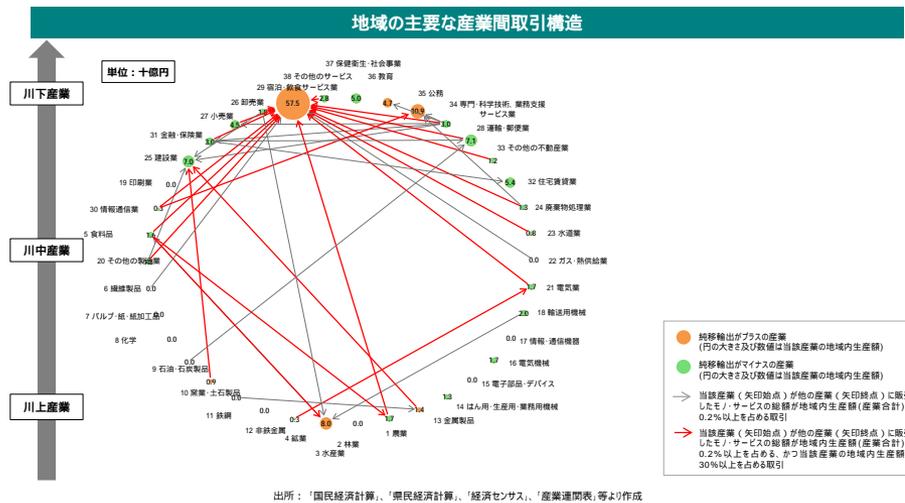


# 【地域経済】

○鳥羽市の水産業は生産額80億円、純移輸出がプラスとなっており、地域内の需要を域内の生産で賄うことができる。

○鳥羽市の水産業は等からの調達が高位を占め、宿泊・飲食サービス業、食料品、その他の製造業への販売が多く、それらの産業の純移輸出はプラス。

水産物を地域内のホテルや飲食店等へ販売するといったサプライチェーンを構築している可能性があり、さらに運輸・郵便業や宿泊・飲食サービス業は域外からも稼ぐ力を持っている。

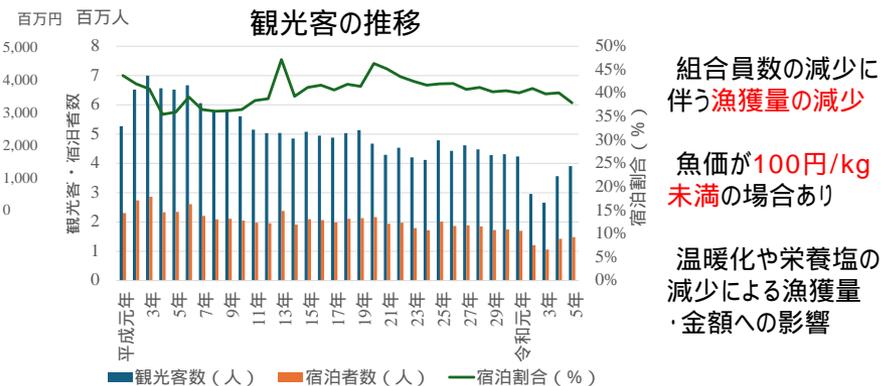


## 1. 現状と課題

三重県鳥羽市は県中央東側に位置し、古くから漁業が盛んで真珠養殖発祥の地としても有名である。また、全域が伊勢志摩国立公園に位置し、近隣には伊勢神宮も所在していることから、観光業も盛んである。近年、漁業では、**後継者不足や漁獲量の減少による収入の減少**といった課題があり、魚価向上や所得確保対策が望まれている。

○また、**国内の観光客は減少傾向**にあり、それに伴う地域の活力の低下もみられる。しかし、一方で**外国人観光客は、新型コロナウイルス感染症による減少はあるものの、直近の10年では大幅な増加傾向**がみられる。

鳥羽磯部漁協では、付加価値向上の取組として、**サワラのブランド化や水産物加工による付加価値向上**の取組が進められている。すでに市内及び島嶼部では、**海業の取組(海島遊民くらぶ、島の旅社)**が進められている。また、その他の観光施設として、鳥羽水族館、ミキモト真珠島、海の博物館等があり、観光船なども就航している。小浜漁港のエリアは漁業者や漁獲量の減少等により、**漁港施設や用地の利用度の低下**がみられ、**有効活用**が望まれている。

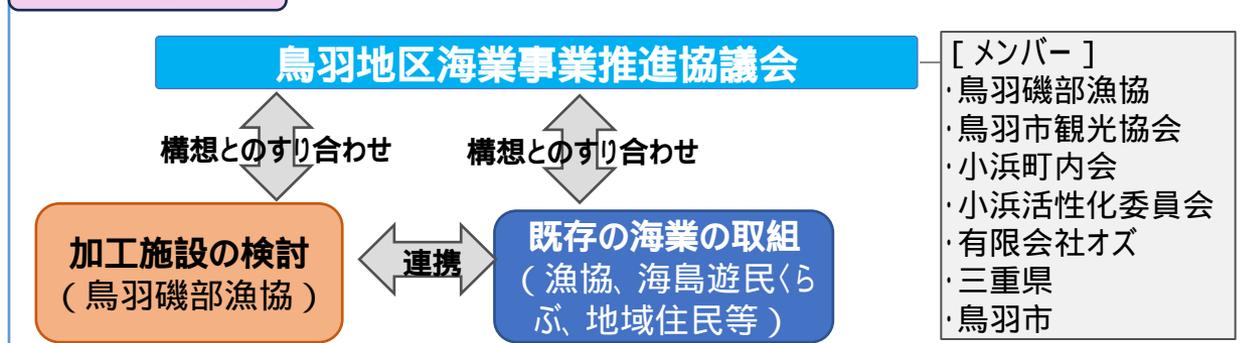


組合員数の減少に伴う**漁獲量の減少**

魚価が**100円/kg未満**の場合あり

温暖化や栄養塩の減少による**漁獲量・金額への影響**

## 2. 検討体制



## 3. 海業の方針

水産加工による**付加価値向上の取組**を更に推進することで、鳥羽市における基幹産業である水産業を持続的なものとし、地域の活性化を促す。また、加工品の直販や飲食といった取り組みも推進し、すでにある海業体験のプログラムとも連携を図り、県内外及び海外から観光客を呼び込むことで、所得の向上や賑わいを創出し、地域全体での産業の活性化を図るとする。また、加工場では雇用環境の受け皿及び**地域の担い手**を確保・育成する。

- [取組]**
- 加工による**水産物の付加価値向上**
  - 直販や飲食**や既存の**海業の取組**との連携を図る
  - 上記取組を後押しする**漁港遊休地**を活用するための**加工施設**の創出

## 4. 海業の具体的な取り組み・実施主体(案)・期待される効果

**加工施設の整備(漁協)**  
 人気魚種(マダイ、サワラ、スズキ等)や低未利用魚(クロダイやサメ類、アイゴ等)の加工  
 新工場では既存の工場の**約5.7倍の取扱量**  
 各魚種の仕入れ単価も**約1割増**を想定  
**[期待される効果]**  
 水産物の買い支えと魚価向上  
 漁業者の閑散期における所得向上  
 地域雇用の創出



駐車場予定(漁協・市の土地)用途変更中

**[地域全体]**  
 既存の**海業の取組**との連携や新規の直売や飲食等の事業(漁協、地元企業等)  
 の加工施設の見学プランも検討  
**スモールビジネスからスタート**することで**地域内の成功体験を積み上げる**  
 観光誘致と地域産業の活性化を図る  
**[期待される効果]**  
 鳥羽市全体の収入を得る機会の拡大  
 エリアの魅力向上  
 地域雇用の創出  
 地域の賑わいの創出



**コンテナ等での飲食・お土産提供サービス**

休憩・飲食・販売スペース設置による観光ポイント及びキャッシュポイントの増加  
 加工場見学等の体験メニュー窓口

**旅館等での地魚メニュー提供**

調理人の工数削減  
 地魚メニューの多角化等

## ウ 事業計画書 記載項目

策定者		
協議会メンバー		
対象地域と対象漁港		
地区の概要	地区の現状	地区の概要、産業構造と人口の推移、漁業の概要、観光の概要等
	上位・関連計画	上位・関連計画との関係、位置づけ
	地域の課題	上記を踏まえて地域の課題を整理
海業の概要	海業の目的	目的（ミッション）、地区が目指す将来像
	実施する事業	実施する事業、事業主体、実施時期等
	地域資源や魅力の活用	活用する地域資源や魅力、事業での活用方針、域内調達
	漁港ストックの活用方針	漁港ストック、およびその活用方針
	事業の効果	地元水産業の発展に寄与する内容、地域に与える効果
実施する各事業のビジネスモデル	ビジネスモデル	何を、誰に、どのように提供するか、価格帯、見込客数等
各事業の実施項目と実施主体、活用したい支援事業等		
体制、人員計画、関係者の役割分担		
実施に向けた手続き・調整事項	手続き	各事業の実施に向けた具体的な手続き
	調整事項	今後必要となる調整事項の整理
財務計画	資金の検討、収益の検討	
実施にむけたタイムスケジュール案（これまでのまとめ）		

# 加工事業の概要

## 加工事業

### 事業の概要：

地元水産物を中心とした一次及び高次加工場を整備・運営する。また、併せて加工場見学を体験プログラムの一つとすることも検討。

### ■事業主体：

[施設整備] 鳥羽磯部漁協

[施設運営管理] 鳥羽磯部漁協

■実施時期：令和6年～7年：検討

令和8年以降：事業開始予定（中期）

### ■取扱商品：

地元水産物を中心とした一次及び高次加工品の安定した生産体制を構築し、地元飲食店や直売所での提供や量販店等での安定的な販売を想定。

### ■想定する事業規模：

鮮魚：19トン

加工品：26トン

低利用魚：78トン

現在稼働している答志島加工場の過去5年実績値の5倍を想定

### 取扱商品、サービスのセールスポイント

・安定した加工品の生産を行い、定量・定質を実現することで、比較的規模の大きな販売及び取引が可能となる。

### 販売ターゲット、見込事業者、販売戦略

ターゲット：量販店、地元飲食店、地元宿泊施設など

販売戦略：安定したロットを揃えることで、継続した取引形態を実現

### ■競争・市場など企業を取り巻く状況：

近年の漁場環境の変化により、加工対象魚種の変化なども想定される。そのため、新たな魚種での加工や販路の開拓、原料となる魚の広域的な確保体制なども併せて構築する必要がある。

## 加工場内部のイメージ



見学イメージ

# 飲食・直売事業の概要

## 飲食・直売事業

### 事業の概要：

地元水産物の加工品を中心とした**直売・飲食施設**と**旅館等での地魚メニューの提供**。また、空き家を活用した**民泊、交流スペース**の創出など。

### ■事業主体：

[施設整備] 未定 [施設運営管理] 民間事業者

### ■実施時期：

令和7年：事業の検討  
令和8年：事業計画策定

### ■取扱商品：

地元**水産物**を中心とした一次加工品や高次の加工品（フライ商材など）を手軽に楽しむことができる機会・**新たな製品の検証・提供**

### ■想定する価格：

飲食 1人・1食 500～2000円

直売 1人 1000～3000円

### 取扱商品、サービスのセールスポイント

- ・地元の水産物を**安定して提供可能**。
- ・海辺という**良好なロケーション**。
- ・**地元住民とのコミュニケーションの場**

### 販売ターゲット、見込事業者、販売戦略

ターゲット：伊勢志摩及び鳥羽への観光客、

見込客数：見込 6,000人（4～11月）

見込客数：海業体験観光客、近隣住民、近隣宿泊者等

販売戦略：SNS等での宣伝。等

### ■競合・市場など企業を取り巻く状況：

近隣に競合する飲食店は無いものの、観光施設もほとんどない状況。しかし、海業の体験基地から近いことから一定の需要はあるものと考えられる。また、空き家活用により、交流人口の増加による相乗効果が期待される。

## （例）コンテナハウスでの直売イメージ



# 加工場との連携イメージ

- u 新加工場との連携
- u 観光誘致策の一つとして加工場周辺に休憩・飲食スペースの設置等を想定。



- n 地域内外への原料供給
- n 加工場見学体験等の提供



カフェ（コンテナハウス等）での飲食・お土産提供サービス



- n 休憩・飲食・販売スペース設置による観光ポイント及びキャッシュポイントの増加
- n 加工場見学等の体験メニュー窓口



- n 調理人の工数削減
- n 地魚メニューの多角化 等

## ○ポイント

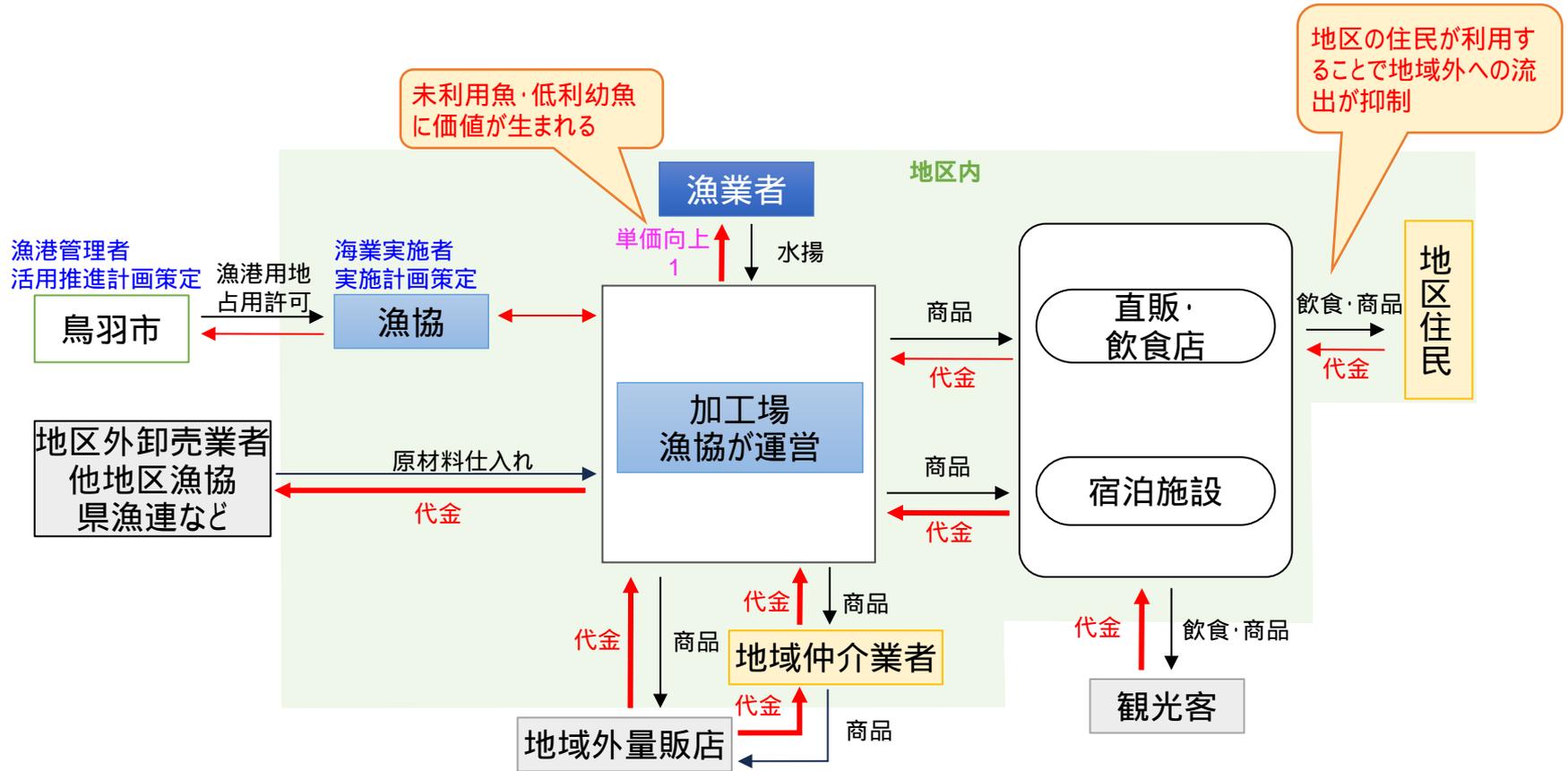
- u 地域内の地域資源を活用
- u スモールビジネスからスタートすることで地域内の成功体験を積み上げる

# 事業の効果（ロジックモデル）



# 海業（加工事業）の関係主体間の経済関係

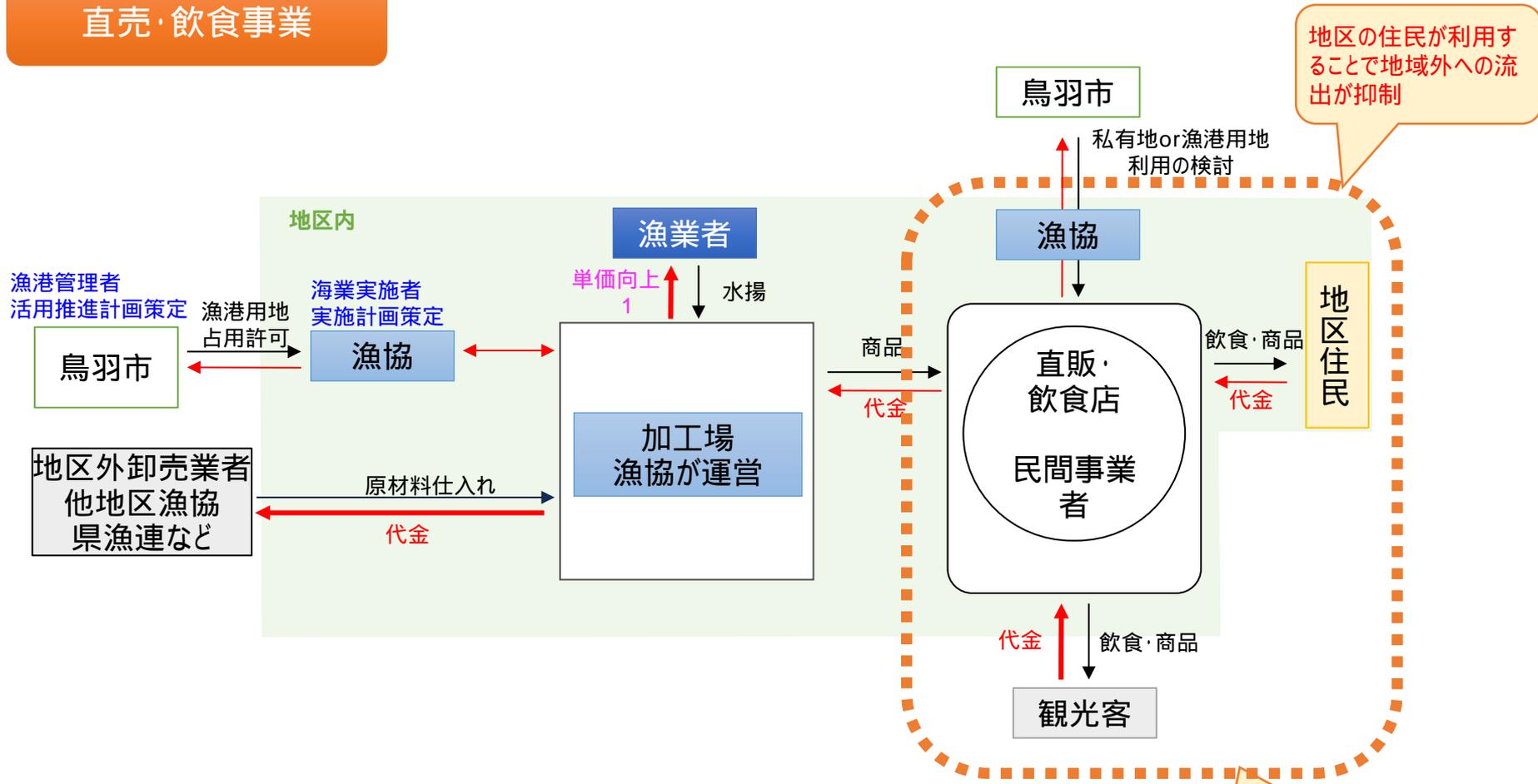
## 加工事業



単価向上 1 : 未利用及び低利幼魚の買取りが可能になり、水揚げ金額及び単価が向上

# 海業（飲食・直売事業）の関係主体間の経済関係

## 直売・飲食事業



単価向上 1 : 未利用及び低利幼魚の買取りが可能になり、水揚げ金額及び単価が向上

地区住民による新規事業雇用の創出・地区内での飲食施設の増加

# 海業計画スケジュール(案)

事業名	事業主体	実現までの実施事項				実施時期													
		実施項目	概要	実施主体	活用したい支援事業	短期					中期					長期			
						R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16 ~			
水産物加工施設の設置	漁協	事業プラン作成	・施設、設備規模の検討(年間受け入れ量/出荷量) ・事業採算性の検討	漁協	-														
		用地変更・活用推進計画の検討	漁港施設活用にあたっての変更手続き等		-														
		着工に向けた手続き	・加工場要件確定 ・加工場の設計 ・加工商材の販路確保		-														
		漁具倉庫解体整備	老朽化した施設を解体 加工場の整備、機材導入		-														
		運用開始	事業者による運用開始(マーケティング等の継続的な実施、他団体との連携)		-														
		水産業競争力強化緊急施設整備事業																	
飲食・直売等の観光メニュー	地区全体	実証試験	イベント時に試験的に運行。また既存の取組と連携。	地区全体	-														
		商品開発	実証試験を踏まえ、プログラムを構築		-														
		定期開催に向けた準備	定期的な実施に向け必要な許可等の取得などを実施。		-														